



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 東京テアトル株式会社
 コード番号 9633 URL <http://www.theatres.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 太田 和宏
 (氏名) 松岡 毅

TEL 03-3561-8325

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	7,415	△5.4	138	—	184	—	126	△92.8
26年3月期第2四半期	7,835	△13.8	4	—	△45	—	1,748	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 125百万円 (△46.8%) 26年3月期第2四半期 236百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	1.60	—
26年3月期第2四半期	22.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	23,893	13,477	56.4	170.74
26年3月期	24,579	13,430	54.6	170.15

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 13,477百万円 26年3月期 13,430百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	円 銭	
26年3月期	—	0.00	—	1.00	円 銭	1.00
27年3月期	—	0.00	—	—	円 銭	—
27年3月期(予想)	—	—	—	1.00	円 銭	1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,600	△0.3	250	—	250	—	100	△88.0	1.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	80,130,000 株	26年3月期	80,130,000 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	1,193,033 株	26年3月期	1,192,973 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	78,937,018 株	26年3月期2Q	78,937,986 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信開示時点において、四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】4ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

平成27年3月期第2四半期連結累計期間（平成26年4月1日～平成26年9月30日、以下「当四半期（累計）」といいます。）における当社グループの定性的情報は次のとおりです。

(1) 経営成績に関する説明

当四半期（累計）におけるわが国の経済は、消費税率引き上げの影響により先行きの不透明さを残すものの、雇用・所得環境の改善が続き、緩やかな回復基調で推移しました。

このような経済環境のもと、当社グループは平成24年度を初年度とし平成26年度を最終年度とする中期経営計画「To The Next 2014」の達成に取り組みました。

当四半期（累計）の連結業績は、前年度に「ホテル西洋 銀座」が営業終了したことや消費税率引き上げの影響を受け不動産販売事業の売上が伸び悩んだことなどから売上高は7,415百万円（前年同期比5.4%減）となりましたが、前年度に取得した賃貸不動産3物件の収益が寄与したことなどから営業利益は138百万円（前年同期は営業利益4百万円）となり、経常利益は184百万円（前年同期は経常損失45百万円）となりました。また四半期純利益は、銀座テアトルビルの売却益を特別利益に計上した前年同期から大幅に減少し126百万円（前年同期比92.8%減）となりました。

■連結経営成績（百万円）

	前年同期	当四半期（累計）	増減
売上高	7,835	7,415	△419
営業利益	4	138	+134
経常利益（△は損失）	△45	184	+230
四半期純利益	1,748	126	△1,621

セグメント別の業績概況は以下のとおりです。

映像関連事業における広告事業は、業務領域を広げ、グループの経営資源を最大限活用して取引先企業の販売促進支援や顧客開発を提供するため「ソリューション事業」として再編し、事業名称を変更いたしました。

また「ホテル西洋 銀座」を運営しておりました株式会社エイチ・エス・ジーは平成26年5月21日をもって清算終了し、当社グループはホテル事業から撤退いたしました。これに伴いセグメント名称を従来のホテル飲食関連事業から飲食関連事業に変更いたしました。

■セグメント別売上高（百万円）

売上高	前年同期	当四半期（累計）	増減
映像関連事業	1,627	1,571	△55
飲食関連事業	3,029	2,867	△162
不動産関連事業	2,564	2,267	△297
その他事業	612	708	+95
計	7,835	7,415	△419

■セグメント別営業利益（百万円）

営業利益	前年同期	当四半期（累計）	増減
映像関連事業	32	△31	△63
飲食関連事業	38	56	+17
不動産関連事業	240	353	+113
その他事業	46	50	+3
調整額	△353	△290	+63
計	4	138	+134

<映像関連事業>**(映画興行事業)**

『そのみにて光輝く』『チョコレートドーナツ』等が好成績を収めたものの、前年同期にアニメ作品の大ヒットがあったことから、前年同期比で減収となりました。

当四半期末の映画館数及びスクリーン数は、9館23スクリーンです。

(映画配給事業)

前年同期よりも配給収入を計上した作品数は減少しましたが、モントリオール世界映画祭最優秀監督賞を受賞した『そのみにて光輝く』が大ヒットしたことから、前年同期並みの売上高となりました。

(ソリューション事業)

新規顧客の獲得等により受注が増加しましたので、前年同期比で増収となりました。

以上の結果、映像関連事業の売上高は1,571百万円（前年同期比3.4%減）となり、営業損失は31百万円（前年同期は営業利益32百万円）となりました。

<飲食関連事業>**(飲食事業)**

平成26年4月に洋菓子店「パティスリー 西洋銀座」松屋銀座本店を、平成26年6月に都内ダイニング&バーの地中海バル2号店「アオヤマ・マルマーレ」を、平成26年8月に焼鳥専門店チェーン「串鳥」岩見沢店を出店したことに加え、各既存店も好調に推移したことから、前年同期比で増収となりました。

当四半期末における飲食店及び惣菜・洋菓子店の店舗数は下表のとおりです。

■飲食店及び惣菜・洋菓子店の店舗数

	前年度末	当四半期末	増減
焼鳥専門店チェーン「串鳥」	34	35	+1
串焼専門店「串鳥番外地」	2	2	0
都内ダイニング&バー	4	5	+1
飲食店 合計	40	42	+2
惣菜・洋菓子店 合計	3	4	+1

前年度に営業終了した「ホテル西洋 銀座」の2カ月分の売上が計上されていることから飲食関連事業の売上高は2,867百万円（前年同期比5.4%減）となりましたが、「串鳥」の増益が寄与し営業利益は56百万円（前年同期比45.1%増）となりました。

<不動産関連事業>**(不動産賃貸管理事業)**

前年度に銀座テアトルビルを売却したほか賃貸商業施設3事業所からも撤退したものの、前年度に取得した賃貸不動産3物件が順調に稼働したことから前年同期並みの売上高となりました。

(不動産販売事業)

消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動により不動産流通市場が低迷し、中古マンションの販売件数やリフォーム受注件数が減少したことから前年同期比で大幅な減収となりました。

以上の結果、不動産関連事業の売上高は2,267百万円（前年同期比11.6%減）となりましたが、賃貸不動産3物件の収益が寄与したことなどから営業利益は353百万円（前年同期比47.1%増）となりました。

<その他事業>

サービス事業は大口債権の回収が前倒しで進んだことから前年同期比で大幅な増収となり、レジューホテル事業は前年同期並みの売上高を確保いたしました。

以上の結果、その他事業の売上高は708百万円（前年同期比15.5%増）、営業利益は50百万円（前年同期比8.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産負債及び純資産の状況

(資産の部)

流動資産は、販売用不動産や買取債権が増加したものの、現金及び預金が減少したこと等により、前年度末と比較し626百万円減少し6,213百万円となりました。

固定資産は、有形固定資産及び無形固定資産が減価償却により減少したこと等により、前年度末と比較し59百万円減少し、17,679百万円となりました。

以上の結果、当四半期末における資産の部は、前年度末と比較し686百万円減少し23,893百万円となりました。

(負債の部)

負債の部は、有利子負債が減少したこと等により、前年度末と比較し733百万円減少し10,415百万円となりました。

(純資産の部)

純資産の部は、四半期純利益を計上していること等により、前年度末と比較し47百万円増加し13,477百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当四半期末における連結ベースの現金及び現金同等物（以下、「資金」といいます。）は、前年度末より1,161百万円減少し4,006百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況と主な要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、資金は432百万円の減少となりました。これは、税金等調整前四半期純利益181百万円に加え、減価償却費197百万円などの非資金項目の調整による増加、たな卸資産の増加238百万円による減少、その他の資産の増加498百万円による減少等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、資金は376百万円の減少となりました。これは、有形固定資産の取得312百万円があったこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、資金は352百万円の減少となりました。これは配当金の支払79百万円に加え、有利子負債の減少273百万円があったこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年10月29日に公表した業績予想からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,085,506	2,934,315
受取手形及び売掛金	410,904	260,426
商品	27,837	32,709
販売用不動産	641,664	854,791
貯蔵品	10,914	23,559
繰延税金資産	51,731	60,728
買取債権	1,269,755	1,563,143
その他	663,840	863,249
貸倒引当金	△321,379	△379,136
流動資産合計	6,840,777	6,213,788
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,010,363	4,979,513
機械装置及び運搬具(純額)	54,972	58,893
工具、器具及び備品(純額)	225,388	228,421
土地	9,102,828	9,102,828
リース資産(純額)	136,618	126,676
有形固定資産合計	14,530,172	14,496,333
無形固定資産		
借地権	39,207	39,207
ソフトウェア	70,614	61,179
リース資産	1,881	1,596
その他	4,921	4,921
無形固定資産合計	116,625	106,905
投資その他の資産		
投資有価証券	2,115,475	2,102,982
長期貸付金	180	340
差入保証金	802,852	808,774
繰延税金資産	121,896	120,517
その他	272,415	257,552
貸倒引当金	△220,637	△213,884
投資その他の資産合計	3,092,182	3,076,282
固定資産合計	17,738,980	17,679,521
資産合計	24,579,757	23,893,309

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	714,972	626,016
短期借入金	70,000	60,000
1年内返済予定の長期借入金	664,180	537,286
リース債務	25,698	24,796
未払金	501,550	398,467
未払法人税等	222,476	126,350
前受金	91,127	125,765
繰延税金負債	1,304	703
賞与引当金	131,158	151,010
建物解体費用引当金	196,109	142,829
事業所閉鎖損失引当金	192,000	101,530
資産除去債務	160,000	160,000
その他	524,450	465,946
流動負債合計	3,495,028	2,920,701
固定負債		
社債	180,000	180,000
長期借入金	2,609,091	2,486,584
リース債務	121,403	111,992
長期末払金	12,534	12,534
長期預り保証金	2,068,348	2,062,612
繰延税金負債	884,820	827,513
再評価に係る繰延税金負債	990,187	990,187
退職給付引当金	623,346	-
役員退職慰労引当金	59,473	59,473
退職給付に係る負債	-	657,069
資産除去債務	104,676	106,749
固定負債合計	7,653,881	7,494,716
負債合計	11,148,909	10,415,417
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,552,640	4,552,640
資本剰余金	3,737,647	3,737,647
利益剰余金	3,397,227	3,444,945
自己株式	△237,126	△237,135
株主資本合計	11,450,388	11,498,098
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	382,019	381,353
土地再評価差額金	1,598,439	1,598,439
その他の包括利益累計額合計	1,980,459	1,979,793
純資産合計	13,430,848	13,477,891
負債純資産合計	24,579,757	23,893,309

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	7,835,026	7,415,067
売上原価	5,469,835	5,068,589
売上総利益	2,365,191	2,346,477
販売費及び一般管理費		
役員報酬	123,961	106,177
広告宣伝費	34,126	20,378
人件費	1,219,491	1,137,160
賞与引当金繰入額	90,268	104,542
退職給付費用	37,526	38,514
賃借料	168,265	171,691
水道光熱費	86,218	96,010
貸倒引当金繰入額	7,502	67,530
その他	593,732	465,641
販売費及び一般管理費合計	2,361,093	2,207,646
営業利益	4,098	138,830
営業外収益		
受取利息	642	206
受取配当金	39,216	38,826
協賛金収入	30,510	15,820
貸倒引当金戻入額	-	16,526
その他	12,260	9,779
営業外収益合計	82,629	81,159
営業外費用		
支払利息	124,077	25,721
借入関連費用	-	1,905
その他	8,133	7,407
営業外費用合計	132,211	35,034
経常利益又は経常損失(△)	△45,483	184,955
特別利益		
固定資産売却益	3,804,425	-
受取解約違約金	-	600
合意解約金	37,000	-
特別利益合計	3,841,425	600
特別損失		
特別退職金	33,640	-
固定資産除却損	23,094	4,066
減損損失	9,392	-
事業所閉鎖損失	274,869	-
解約違約金	67,000	-
借入金繰上返済精算金	10,620	-
特別損失合計	418,618	4,066
税金等調整前四半期純利益	3,377,322	181,489
法人税、住民税及び事業税	1,881,264	108,653
法人税等調整額	△251,959	△53,819
法人税等合計	1,629,305	54,834
少数株主損益調整前四半期純利益	1,748,017	126,655
四半期純利益	1,748,017	126,655

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,748,017	126,655
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	117,821	△666
土地再評価差額金	△1,628,858	-
その他の包括利益合計	△1,511,037	△666
四半期包括利益	236,980	125,988
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	236,980	125,988

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,377,322	181,489
減価償却費	189,992	197,287
減損損失	9,392	-
貸倒引当金の増減額(△は減少)	7,525	51,004
賞与引当金の増減額(△は減少)	4,231	19,851
退職給付引当金の増減額(△は減少)	4,042	-
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	-	33,723
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△68,306	-
事業所閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	-	△90,470
受取利息	△642	△206
受取配当金	△39,216	△38,826
支払利息	124,077	25,721
固定資産除却損	21,678	383
固定資産売却損益(△は益)	△3,804,425	-
商品評価損	671	7,559
出資金運用損益(△は益)	4,421	5,380
事業所閉鎖損失	20,404	-
たな卸資産の増減額(△は増加)	△239,568	△238,201
売上債権の増減額(△は増加)	285,395	150,477
仕入債務の増減額(△は減少)	△147,544	△88,956
その他の資産の増減額(△は増加)	1,238,733	△498,192
その他の負債の増減額(△は減少)	△516,382	31,089
小計	471,804	△250,884
利息及び配当金の受取額	39,859	39,032
利息の支払額	△70,618	△23,346
法人税等の支払額	△23,897	△197,632
営業活動によるキャッシュ・フロー	417,146	△432,831
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の売却による収入	1,007	120
短期貸付金の増減額(△は増加)	210	-
長期貸付けによる支出	△140	△1,400
長期貸付金の回収による収入	132	430
有形固定資産の取得による支出	△276,007	△312,034
有形固定資産の売却による収入	14,418,475	-
有形固定資産の解体による支出	-	△53,279
無形固定資産の取得による支出	△3,899	-
無形固定資産の売却による収入	365,380	-
資産除去債務の履行による支出	△53,597	-
出資金の払込による支出	△4,000	-
定期預金の預入による支出	△4,600	△12,600
定期預金の払戻による収入	-	2,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	14,442,961	△376,763

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△3,237,334	△10,000
長期借入れによる収入	80,000	150,000
長期借入金の返済による支出	△7,864,495	△399,401
リース債務の返済による支出	△35,001	△13,722
自己株式の取得による支出	△67	△8
配当金の支払額	△77,482	△79,063
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,134,381	△352,195
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,725,727	△1,161,791
現金及び現金同等物の期首残高	3,445,074	4,006,106
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,170,801	2,844,315

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。